

笹川保健財団 地域啓発活動助成

(西暦) 2021年 9月 10日

公益財団法人 笹川保健財団会
長 喜多悦子 殿

2020年度地域啓発活動助成活
動 報 告 書

標記について、下記の通り活動報告書を添付し提出いたします。

記

活動課題

ソーシャルキャピタルを活用したACP普及に関する活動

活動団体名：地方公共団体 公立豊岡病院組合活

動者（助成申請者）名：守本 陽一

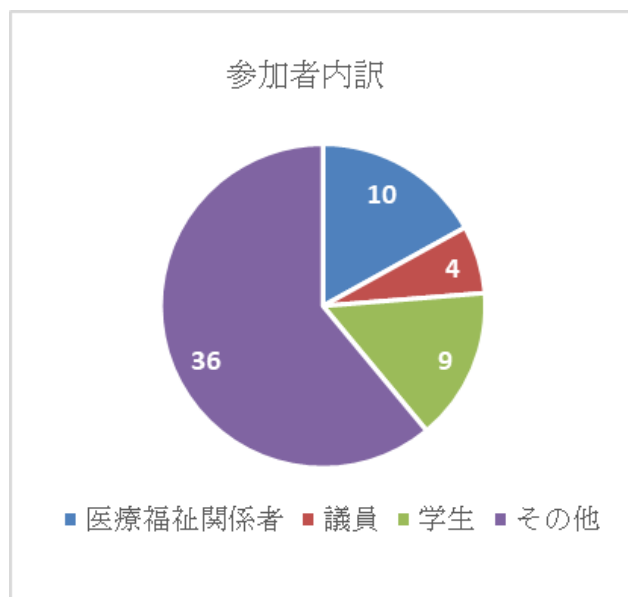
【活動内容・実施経過】

当初講師を招き、上映会とワークショップ開催による、ACPの普及活動を行う予定であったが、コロナの影響で開催ができなかったため、継続的な見学希望がある看護小規模多機能居宅介護事業所リガレッセ（兵庫県豊岡市）において、書籍を利用しながら見学者に対しACP（Advance Care Planning）を啓発する活動を実施した。

実施期間：2021年3月から8月

延べ人数：59名（内訳は下記の通り）

参加者内訳（人）					
	医療福祉 関係者	議員	学生	その他	計
2021/3/17				6	6
2021/3/19			2		2
2021/3/22			2		2
2021/3/30			5		5
2021/3/31				3	3
2021/4/6				3	3
2021/4/19	2				2
2021/5/6				2	2
2021/5/13				2	2
2021/5/14	4				4
2021/5/18		4			4
2021/6/1				4	4
2021/6/2				2	2
2021/7/2				2	2
2021/7/8				4	4
2021/7/13	4				4
2021/7/28				4	4
2021/8/11				4	4
	10	4	9	36	59



【活動の成果】

少人数に対し個別に啓発活動を行うことにより、職種を超え、それぞれの経験を振り返りながら理解し、納得する場面が多く見受けられた。また ACP について初めて知る方に対して、より丁寧に説明する機会となった。

【今後の課題】

但馬地域におけるオピオイドの使用率が非常に低く、地域の医療者がオピオイドについて理解していない実態が報告されている（製薬会社営業職の方からの情報）。また、訪問看護の現場では、本人の意思がはっきりしオピオイドを希望しているにも関わらず終末期でも処方されないケースがあった。一般の方（医療従事者以外）への啓発と同時に、今後は、医療従事者側に幅広くACPを理解してもらうことも、今後の大きな課題であると思われる。

【活動の成果等の公開予定】

なし

文責：大槻恭子（ソーシャルデザインリガレッセ）